

第1回 第三次鹿島市地域福祉（活動）計画策定委員会 議事録

日 時：令和4年6月6日（月）15時～16時10分

場 所：鹿島市役所 5階 大会議室

出席者：委員11人（2人欠席）市民部長1人

庁内委員5人（2人欠席）

事務局4人（市2人、社協2人） 計21人

【配布資料】

- ・式次第、別紙資料、市民アンケート調査結果、第二次鹿島市地域福祉（活動）計画
※第二次鹿島市地域福祉（活動）計画は、委員へ事に送付済

- 1 開 会
- 2 あいさつ（市民部長）
- 3 委嘱状交付
- 4 自己紹介
- 5 鹿島市地域福祉計画策定委員会設置要綱について
※事務局より説明

- 6 会長及び副会長の選出について
※事務局案を説明し、全委員了承。

- ・会 長 鍋 島 恵美子 委員
- ・副会長 植 松 直 樹 委員

- 7 議 事（鍋島会長が議長で進行）

- 1) 計画策定の進め方について

〔議 長〕事務局より説明を。

〔事 務 局〕説明。

〔A 委 員〕第二次計画の事業の整理について、項目ごとに取り組んだ結果どうだったのか。成果について整理を行い第三次につなげていくのか。第三次の特徴として「ヤングケアラーら子どもの貧困問題」は、新たに社会問題になっているので計画に位置付けることはいいと思いますが、その後に書かれている「など」は他にどういったものを想定されているのか。

〔事 務 局〕第二次計画の具体的な取組結果については、その成果が表現できるものは表現していきたい。アンケート調査の意見を踏まえた形でこれまでの5年間の事業と今後事業をどう展開していくのか協議していきたい。第

二次では具体的な目標数値がなく、成果として示すのは難しい。アンケート調査結果を検証しながらどう表現できるか事務局で検討する。「など」は、特段想定はしていない。委員の皆様から意見等があれば今後検討してく。例えば、DVやその他で課題を抱える世帯、公的な支援が受けられなく心配な世帯など増加傾向にあると思うので、第三次に組み込んでいくか検討する。

〔事務局〕ここ数年で防災に備えるなど住民意識が変化してきた。新型コロナで生活様式が変化し、ここ5年間で社協への相談も2倍になっている。今後は相談窓口を単に開いていくのではなく、積極的に生活に困った市民を見つけていく（アウトリーチ）といった今までとは違った形をとりながら、さまざまな支援制度の周知を図っていきたい。

〔B 委員〕この計画の対象者は誰なのか。計画には40～50の事業が記載されているが5年間でできるのか。もう少し絞り込んで実施した方がいいのではないか。

〔事務局〕対象者は市民の方で、赤ちゃんから高齢者まですべての住民を対象としている。事業については、第二次の事業は精査を行い、第三次については今後の策定委員会の中で提案させていただきたい。

〔C 委員〕ほかの計画では基本理念、基本方針など掲げられているが、この計画にはそれはないのか。

〔事務局〕第二次の計画は、市民憲章や高齢者憲章、総合計画の上位計画があつて策定されている。基本理念、基本方針などを掲げるかは、次回までに検討するが、基本的には第二次の計画をベースに策定したい。

2) 地域福祉に関するアンケートの調査結果について

〔議長〕事務局より説明を。

〔事務局〕説明。

〔議長〕市の相談窓口が下位になった原因は何だと思えますか。

〔事務局〕新型コロナの影響があるかもしれない。次回に向けては、各アンケートの調査結果について、各担当課、庁内委員もいるので各専門分野で協議を行い、第2回に具体的な内容を提案していきたい。

〔A 委員〕高齢者の回答者の割合が高く、20代・30代の子育て世帯の回答者の割合が低い。高齢者が多くなると高齢者の意見が大きく反映され、それが計画の中で重要視されてくる。逆に20代・30代の子育て世帯の意見は重要視されないのではないか。どのような形でアンケートを実施されたのか。時間的な問題があると思うが、今後20代・30代からの回答を増やすような取り組みはできないのか。

〔事務局〕アンケート調査は、1,060世帯で実施している。内訳としては、高齢者65歳以上のみの世帯が200世帯、児童0歳から中学生のいる世帯が160世帯、身体障がい者のいる世帯が170世帯、知的障がい者のいる世帯が20世帯、精神障がい者がいる世帯が10世帯、18歳以

上がいる一般世帯が500世帯ということで、全て無作為抽出で実施している。これは、第二次のアンケート調査と同じ世帯割合となっており、前回のアンケート調査と比較するため同じ世帯数としている。20代・30代からの回答を増やす取り組みについては、事務局で検討する。

〔D 委員〕子育て世帯の回答が少ないと思われるが、最後の自由に意見を書く欄では、子育て世帯の意見が結構書かれているので、それを集約していかないとその年代の意見は反映されないと思う。あなたの性別の質問のところで、回答しなくてもよいといった書き方はされたのか。

〔議長〕個人情報関係からですか。

〔事務局〕アンケート調査の性別については、前回と同様の聞き方をしているので回答しなくてもよいといった書き方はしていない。自由意見の欄については、年代別で整理して計画に反映させていきたい。

〔議長〕自由意見は年代別には分かりますか。

〔事務局〕アンケート調査を見直して整理しないと分からない。再度、確認する。

〔D 委員〕子育て世帯の意見としてはっきり分かるものがあつたので、そういう意見を集約してもらえればよいと思う。

〔議長〕自由意見は年代別に整理してもらえたら分かりやすいと思う。

3) 計画策定のスケジュールについて

〔議長〕事務局より説明を。

〔事務局〕説明。

※質問はなし。

8 その他

〔事務局〕次回開催は事前に各策定委員の日程を調整し、8月に開催する。

9 閉 会 (福祉課長)